

ドキュメントの生成手順

2017/03/27 10:12 - kanehiro

ステータス:	終了	開始日:	2017/03/27
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n-ando	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			

説明
ドキュメントの正しい生成手順を教えてくださいませんか。
以前はdocsの下でmake installでよかったと思うのですが、いつからかそれだとdoxygen_classref.confがない、と言われるようになったと思います。
make doxygen_classref.conf
すれば生成されるのはわかっているのですが、正しい手順を確認したいと思います。

関係しているリビジョン

リビジョン 3031 - 2017/08/31 09:55 - kawauchi

[merge] r2892 has been merged from trunk.

リビジョン 3034 - 2017/08/31 18:32 - kawauchi

[compat,document] Modification of revision 3025, 3030, 3032 have been added manually. refs #3999

リビジョン 3034 - 2017/08/31 18:32 - kawauchi

[compat,document] Modification of revision 3025, 3030, 3032 have been added manually. refs #3999

履歴

#1 - 2017/03/27 12:23 - n-ando

- ステータスを新規から解決に変更
- 進捗率を0から100に変更

make dist
でソースパッケージ作成の過程でクラスリファレンスが生成されます。

#2 - 2017/03/27 13:39 - kanehiro

make dist
する際にqkcなるコマンドが必要なようなんです、このコマンドはどのパッケージに入ってますでしょうか？

#3 - 2017/08/30 13:21 - n.kawauchi

河内です。

こちらも対応が遅くなり、申し訳ございません。
make dist時に必要なqkcのインストールですが、私は下記手順にて行っています。

```
$ wget http://hp.vector.co.jp/authors/VA000501/qkcc100.zip
$ unzip qkcc100.zip
$ make
$ sudo cp qkc /usr/local/bin
```

よろしく願いいたします。

#4 - 2017/08/30 13:45 - kanehiro

- ファイルmake_dist.logを追加

河内様、

qkcをインストールし、make distを試したところ添付のようにエラーになってしまいました。

何が問題でしょうか。
なお、RELENG_1_1のソースを使用しています。

#5 - 2017/08/30 15:45 - n.kawauchi

金広様

返事が遅くなり申し訳ございません。

エラーを拝見すると、以下の修正が反映されていないように思えます。

OpenRTM-aist/branches/RELENG_1_1 r2793

OpenRTM-aist/tags/RELEASE_1_1_2 r2794

これは下記チケットの修正です

<http://redmine.openrtm.org/issues/3696>

私の方で下記から最新版をチェックアウトしてビルドしたところ正常にビルドできました。

http://svn.openrtm.org/OpenRTM-aist/branches/RELENG_1_1/OpenRTM-aist/

以上、よろしくお願いいたします。

#6 - 2017/08/30 17:10 - kanehiro

svn update

した時に表示されるリビジョンは3029となっています。

ビルドの手順が間違っているのでしょうか。

こちらでは

```
./build/autogen
```

```
./configure --without-doxygen
```

としていました。--without-doxygenをつけていることが問題かと思い、これを外したところ、
「doxygen_classref.confをmakeするルールがありません」、というエラーになります。

#7 - 2017/08/30 18:26 - n.kawauchi

こちらの状況をお知らせします。OpenRTM-aist/branches/RELENG_1_1をチェックアウトしてのビルドです。

branchesのソース利用なら下記のようにr2793、tagsソースならr2794の修正が入っているのでしょうか。

```
$ svn update
```

```
Updating '':
```

```
リビジョン 3029 です。
```

```
$ svn -l 2 log
```

```
-----  
r3027 | n-ando | 2017-08-30 12:02:35 +0900 (2017年08月30日 (水)) | 1 line
```

```
[compat,build] Adding -C/-p option to header install command. refs #4032
```

```
-----  
r2793 | kawauchi | 2016-10-28 17:28:34 +0900 (2016年10月28日 (金)) | 1 line
```

```
[merge] r2791-2792 has been merged from trunk.
```

```
-----  
$ ./build/autogen
```

```
$ ./configure --prefix=/usr
```

```
$ make dist
```

上記にてビルドOKです。

#8 - 2017/08/30 20:18 - kanehiro

- ステータスを解決から終了に変更

河内様、

```
$ make
```

```
$ make install
```

だとclassref.confがない、というエラーが発生する。予めmake distしておくともエラーが発生しないということがわかりました。
ありがとうございました。

#9 - 2017/08/31 10:07 - n.kawauchi

金広様

お手数をおかけして、申し訳ございませんでした。原因が分かりました。
ご指摘のエラーはtrunkでは修正済みですが、これをbranches/RELENG_1_1へ
マージしておりませんでした。

trunkでは下記チケットで対応済みです。

[#3887](#)

このチケットで、原因は [#3696](#) の修正によるものと書いています。

[#3696](#) のコミットログは、[compat->RELENG_1_1]としているので、
[#3887](#) も同じにすべきところをRELENG_1_2としてマージしておりませんでした。
対応が至らず、申し訳ございませんでした。

branches/RELENG_1_1へマージし、make, make installでもエラーが出ない
ことを確認しました。

よろしくお願いいたします。

#10 - 2017/08/31 12:08 - kanehiro

河内様、

make; make install

でビルド、インストールできることを確認しました。

ただ、いきなり

make install

すると同じエラーでコケるようです。特に理由がなければいきなりmake

installでもビルドとインストールができたほうが良いと思うのですがいかがでしょうか。

#11 - 2017/08/31 18:43 - n.kawauchi

金広様

[#4173](#) にてtrunkソースへ対応しました。

これをbranches/RELENG_1_1へマージしたかったのですが、すでにdocs/Makefile.amには
RELENG_1_2用の修正が入っており、競合の編集が難しかったため、[r3034](#) にて手動で
追加しました。

また、今回の修正でタグファイルにも対応しました。

ドキュメント生成時、docs下にOpenRTM-aist.tag, OpenRTM-aist-IDL.tagが出力されます。

よろしくお願いいたします。

#12 - 2017/08/31 18:51 - kanehiro

河内様、

./build/autogen; make install

でドキュメント含めビルド、インストールできることを確認しました。

ありがとうございました。

ファイル

make_dist.log

227 KB

2017/08/30

kanehiro